またまた値上げ
なんとかして!!

くらしを守る1票は日本共産党の候補へ

3つの応援

1 子育て応援

- 小中学校の給食費無償化
- 国保料（税）の子どもの均等割り廃止
- 給付型奨学金の対象拡大

2 ジェンダー平等応援 男女の賃金格差是正

富山県の女性の賃金は、男性の 75%

3 地域経済を応援

- 住宅リフォーム助成制度で仕事づくり
- 気候危機打開へ──住宅・建物の断熱化で地域振興

農業再生
飼料・資材の高騰分を補填
水田交付金削減の見直し

税金の使い道はくらし第一に

3つの安心

1 暮らしに安心

- 消費税を 5%に引き下げ
- 中小企業を支援して最低賃金1500円に
- 高い国保料（税）、介護保険料の引き下げ
- 年金引き下げストップ

2 高齢者に安心

- 加齢性難聴者に補聴器購入の助成
- 公共交通の充実を

3 医療に安心

- コロナ対策──5類引き下げによる自己負担に反対
- 保健所・医療体制の充実
- 病床削減に反対

全国最レベル

民生費	41 位
児童費	38 位
社会福祉費	44 位
生活保護費	45 位
災害復旧費	46 位

一方で
土木費は全国で 15 位！
都道府県順位 2019 年決算（22 年発表）

財源はあります！

全国最下位クラスのくらし・福祉の予算（民生費など）をせめて、全国並みに引き上げれば実現できます。

岸田自公政権の大軍拡・大増税ノー!!

戦争させない平和の1票を日本共産党の候補へ

「大軍拡・大増税に反対」の市民の請願に自公が反対

「安保3文書」の閣議決定で、敵基地攻撃能力を持ち、5年間で43兆円もの大軍拡へ。財源は大増税。これまでの専守防衛を投げ捨て、他国に脅威を与える軍事大国に。

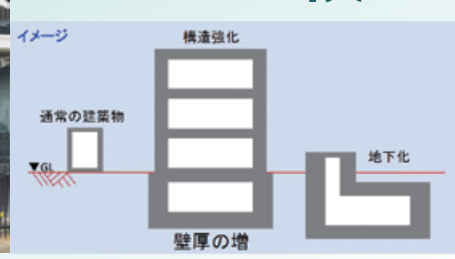
2月県議会では、市民団体からも「大軍拡・大増税の撤回を求める請願」が出されました。自公はこれに反対して不採択。

請願の紹介議員は日本共産党だけ

敵基地攻撃能力保有で、沖縄だけでなく 富山も戦場になる危険 共産党が指摘

政府は、核兵器、生物・化学兵器による報復に備えて、全国約300の自衛隊基地を「地下化」するなど「強じん化」計画を進めています。政府は国会で認めました。

これには、砺波市の陸上自衛隊・富山駐屯地が含まれています。富山も戦場になる恐ろしい想定です。



県議会では、岸田内閣の大軍拡を正面から追及したのは日本共産党だけ

「憲法、国際法、国内法の範囲内の対応」と岸田首相の主張を代弁。（知事）

「防衛省に聞いたが、『具体的には何もきまっていない』と答えてもらえなかった」と答弁。（危機管理部長）

「軍事対軍事」では県民の命は守れません

自民党重鎮からも不安の声

「『決してあの過ちは繰り返しません』と何十年も言い続けて、その結果がこの政策転換というのはありえない」

（河野洋平・元衆議院議長、1月7日TBS「報道特集」）

日本共産党の平和のビジョン

戦争の心配のないアジアへ いま必要なのは対話の外交です

現にある「平和の枠組み」＝東アジアサミットを強化して、排他的なブロック政治でなく、地域すべてを包摂する「外交ビジョン」を提案しています。

「平和を望むなら、戦争の準備でなく平和の準備を」
評論家　故加藤周一さん

日本共産党　2023年4月9日執行　富山県議会議員選挙届け出1号ビラ
富山市荒川2丁目24-12　TEL：076-432-8383　FAX：076-442-1220　Eメール：jcp-tym@amber.plala.or.jp

発言力・行動力バツグンの

日本共産党の代表を 富山、射水、高岡から

ちがいクッキリ 日本共産党 選んでください

みなさんと力をあわせ、暮らし・福祉の願いを実現

2議席の力でついに動きました

子どもの医療費助成拡大
通院3歳→就学前に

市町村の 18 歳までの
無料化を後押し。

35人学級を小6まで

国の制度より
2 年前倒しで実現。

県立学校の普通教室のエアコン設置

保護者負担なしで設置。

県西部水道水の単価引き下げ

2 年連続引き下げへ。
市民への還元が課題です。

県民の願いに背を向ける自民、公明

意見書・請願の内容	共産	自公
加齢性難聴者への補聴器購入への補助制度を求める意見書（2021 年 2 月）	○	×
介護従事者に産業別最低賃金制度を求める請願（2019 年 11 月）	○	×
年金削減やめ最低保障年金の実現を求める意見書（2016 年 11 月）	○	×

（○＝賛成、×＝反対）

県政のゆがみ、政治の腐敗をチェック

反社会的団体、統一協会との癒着を追求

共産党

全国ニュースにもなった知事との癒着を徹底追及

自民党

関係を認めた県議は全国トップクラスの14人（共同通信アンケート）

自民党県連は調査しない方針

県民にはだんまり

税金のムダづかいチェック

県武道館など、県立施設の
PFI方式（民間活力）**の導入**

設計、建設、維持・管理まで民間企業に長期間丸投げ。

安くなる保証はありません
海外では民間から公営に戻すケース相次ぐ

地元企業には仕事が回るとは限りません
儲かるのはゼネコン・大企業だけ

自然をこわす開発に熱心 自民党

- 北アルプス横断道路構想に 1 兆円
- 利賀ダム 1247 億円　地滑り危険区域、治水効果には疑問
- 前知事が提案した、立山弥陀ヶ原周辺のロープウェイ構想にも反対せず

国の悪政に正面から立ち向かう

自民党が 8 割を占める県議会。地方から安倍、菅、岸田政権を強力に支えてきました。
こんどの県議選は、岸田自公政権に審判を下す選挙です。

国民の６割が反対した安倍元首相の「国葬」

共産党

憲法違反と堂々と反対。
知事の国葬出席にも反対しました。

自民党

「消費税を 2 度上げ、秘密保護法や安保法制を成立させた偉大な政治家」と県議会で礼賛。

国の悪政を支える自民、公明

意見書・請願の内容	共産	自公
消費税率引き下げとインボイス制度の中止を求める意見書（2023 年 2 月）	○	×
国に国保への公費負担増を求める意見書（2019 年 11 月）	○	×
沖縄県の辺野古における米軍新基地建設の中止を求める意見書（2019 年 2 月）	○	×

（○＝賛成、×＝反対）

こんどは 2議席から 3議席へ

3議席になれば

3 つの常任委員会に出席し、
より掘り下げた審議ができます。
本会議質問、予算特別委員会質問が 1.5 倍の回数、時間に伸びます。

県民団体からの請願件数

共産党 9 団体 40 件（4 年間）
ダントツトップ